

小山田大龍地区まちづくりを考える会（幹事会）
まちビジョン準備会（第1回）

日時：2023.1.18（水）18：00～20：00

場所：小山田グリーンサービス 2F 事務所

参加者

- ・市民6名
- ・市議1名
- ・街づくりアドバイザー1名
- ・町田市地区街づくり課2名

1. 幹事からの「まちビジョン」への思い

- ① 先日行われたどんど焼き（団子焼き）では20人を超える子ども達が集まった。人口減・高齢化が進んでいるが、今までにない活気があり、イベントで地域の活性化が図られる可能性がある事が分かった。
- ② 地域の活性化は里山交流館、道の駅などの施設整備や周辺の道路を整備する事が必要。
- ③ 町田市の都市づくりのマスタープランには、元のモノレールルート of 道路が検討路線として残っている。学校の通学路なども含め周辺道路の整備を実現し、安全・安心のまちづくりを進める。
- ④ 道路をはじめとしたハード整備の要求は町内会ベースで行い、ソフト的なまちづくり活動の活性化については「まちビジョン」で計画づくりを行う。
- ⑤ 高齢化で自動車での移動も出来なくなり、近くにコンビニも無い状況（現用途地域では立地できない）では生活に支障が出る。

2. 「まちビジョン」と施設整備の関係についての整理

- ① 「まちビジョン」は地域の将来像を共有し、イベントなどの活動（街づくりプロジェクト）を通じて人と人を繋ぎ地域の活性化を実現する。
- ② 「まちビジョン」が出来ると、町田市の都市マスタープランの一部に位置付けられ、将来の街づくりに必要な施設（道路）や都市計画のルール変更などの際の参考になる。

3. 「まちビジョン」策定とハード整備の関係

まちビジョン策定⇒・地区の目標や方針を共有
・イベント（活動）の活性化
（コンテンツ⇒神事、里山イベント、蛍、筍などの販売）



場づくり⇒里山、緑地、里山交流館、道の駅
区域外からの人の交流 ⇒人づくり（リーダー）



ハード（道路、交通網）整備⇒（都市マスとの連携）

4. 次回の幹事会での検討事項

前回の準備会や本日の幹事会を踏まえ、次回の幹事会では、まちビジョン策定に向け整理が必要な事項を検討する。

- ① 新しい住民も会に参加していただくため、エリア（区域）の検証、会の名称を検討する（前回の街づくりを考える会を継承するか）。
- ② まちビジョン策定に向けて条例で求められている事項について内容等を整理する。（地区街づくり課の説明）
- ③ 改めて、ソフトなまちビジョン策定とハードの施設整備の関係を整理し、町内会との役割分担などについて会員の理解を深める。
- ④ 検討のステップを提示する。
- ⑤ 次回の幹事会は2月15日（水）午後6時から